

要望書提出のPOINT

平成27年8月20日
(一社)群馬県建設業協会

地方の業界を取り巻く環境

- 6月頃から県内各地の協会員の間から、今年度発注量が極端に少ないとの声が多く聞こえた。
- 実感としては前年度の半分近い量にまで減少感。
- このままいくと、かなり厳しい状況に陥ってしまう。
- 土砂災害、台風、除雪対応など、地方の業界が担う災害対策もままならなくなってしまう。

実態調査 (H27.7 緊急アンケート調査) と「発注量と発注件数」の調査

- 発注量、発注件数ともに、前年度より大幅に減少。
- 中でも「地域密着型の建設会社が担う工事」が極端に減少。
(対前年度比 21.7%減)
- 一般土木の発注件数の減少幅が大きい。3割減 (対平成25年度比)
- 今後の発注見通しをみても、約75%の企業が今年度減少と予測。
- 2年間続いた「補正予算」がない分、こういった状況になった。

⇒ 災害対応などが厳しくなる状況が想定される

「対策と対応」について (H27.7 緊急アンケート調査結果より)

- 給与・賞与削減などの声も出てきている。
(2割減で227社、3割減で281社)
- 休業、廃業も選択肢の声。
(2割減で14社、3割減で47社)
- 「除雪・災害応急体制崩壊の危機」 (1割減で45%の企業が1年以内で不可)

要望事項

- 補正予算の早期編成
- 「地方創生」、「国土強靱化」を踏まえた平成28年度公共工事当初予算の増額
- 地域において「国土強靱化」を担う建設業者の経営再建の支援